

学校のコロナ禍の課題や期待について

熊本県立大津高等学校 1年 ゼミ

1 研究の概要

学校の行事ごとや、日常生活など最近コロナでできないことが多いため、どんな課題が隠れているのか知りたい。

2 方法

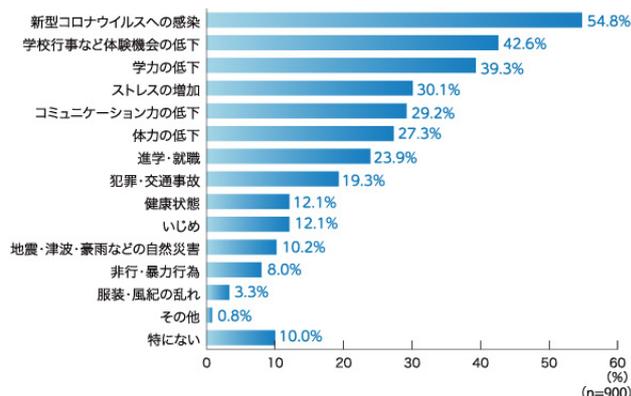
コロナ禍による生徒の意見についてはウェブページで結果を調べる。

不登校などの記事については実際のニュースなどで調べる。

3 結果

新型コロナウイルスへの感染の不安が最も多い結果になった。学校行事の低下が次に多い結果になった。自分で調べた結果にも、学校行事の低下が多い結果になった。

コミュニケーションの低下があまり見かけなかったため、今回のポイントになるいじめは12.1%と結構低い。



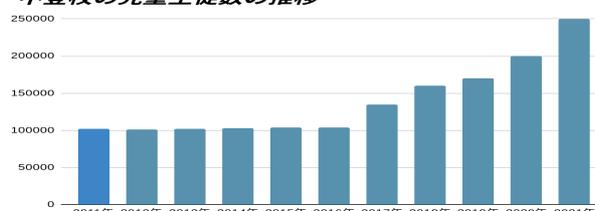
【図1】 お子様に関することで、今あなたが不安

に感じていることは何ですか。（複数回答）

出典：KANKOより

不登校に関する内容は、コロナが流行った2020年から多くなっている事がわかる。また約5万人も増加していることがわかる。

不登校の児童生徒数の推移



出典：不登校の児童生徒数の推移（KANKO）より一部抜粋

4 考察

コミュニケーションの変化により不登校が多くなったのではないかと考えられる。

コミュニケーションの変化のメリットとして、例えば学校にいけなくなっても、仲の良い友達とはSNSで交流ができる。しかし裏を返せば、学校にいけなくなってもいじめられる可能性があるということがあってしまう。

大切なのは、はっきり相手に伝えることだと思う。

5 今後の展望

報告・連絡・相談を意識して相手とコミュニケーションを取る。

6 参考文献

・すららネット

<https://life-and-mind.com/communication-skills-9346>

・KANKO

<https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom/vol187>